

2009年9月28日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

高大連携「大垣桜高校」「長良特別支援学校」と調印式

中部学院大学（学長 岡本 健）並びに中部学院大学短期大学部（学長 片桐 多恵子）は、大垣桜高校（学校長 鬼頭靖尚）並びに長良特別支援学校（学校長 下野正代）とそれぞれ高大連携を推進することになり、10月1日に協定書調印式を行います。高大連携の目的は、共同して地域・社会に貢献する有為な人材育成を目指すことや、生涯における学習への意欲や知的好奇心を高め、適切な進路選択、職業選択を行うことができるように支援することなどです。具体的な交流としては、大学の講義（高大連携講座など）への高等学校の生徒を聴講生として受け入れたり、高校で生徒や保護者向けに講師を派遣して講座を開設したり、交流を図っていきます。（趣旨、交流テーマに関しての詳細は2頁目にて記載しています）。

なお、今回の両校の調印により、本学の高大連携校は12校（※1）になります。

記

【高大連携協定書調印式】

- 日 時 2009年10月1日（木）15時～15時30分
- 場 所 中部学院大学・中部学院大学短期大学部 関キャンパス 大会議室
（関市桐ヶ丘二丁目1番地 0575-24-2211）
- 出席者 中部学院大学 岡本 健 学長
中部学院大学短期大学部 片桐多恵子 学長
岐阜県立大垣桜高等学校 鬼頭 靖尚 校長
岐阜県立長良特別支援学校 下野 正代 校長

【趣 旨】

- 1) 未来を担う若者の育成にあたり、高校と大学が長期的な展望に立って連携協力を行い共同して、地域・社会に貢献する有為な人材を育成する。
- 2) 高校生が大学での学びに触れることにより、生涯における学習への意欲や知的好奇心を高めるとともに、適切な進路選択、職業選択を行うことができるよう支援する。
- 3) 高校と大学との相互交流により、後期中等教育としての高等学校教育と、高等教育としての大学教育の相互の活性化に資する。
- 4) 今後、大学入学前教育、リメディアル教育の在り方を検討するなど、高等学校教育と大学教育の円滑な接続を図る。

【交流テーマ】

- 1) 大学の講義への高等学校生徒聴講生の受け入れ（高大連携講座など）
- 2) 高等学校の学習活動や特別活動などの諸活動に対する大学の資源提供・支援・交流（出前講座などの講師派遣、教室等施設・備品の提供など）
- 3) 高等学校の生徒及びその保護者向け講座の開設・開講（講師派遣など）
- 4) 教育に関する諸問題についての情報交換と教職員の交流
- 5) その他双方にとって有益な事業の実施

※ 1 これまでに本学が調印している高大連携校（順不同）

関高校、関有知高校、東濃実業高校、岐阜各務野高校、郡上高校、岐阜総合学園高校、山県高校、関商工高校、土岐紅陵高校（以上公立高校） 済美高校（私立高校）

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 高大連携係（担当：大橋） TEL:0575-24-2216（関キャンパス内）